

# 製品安全データシート

株式会社 FeeLink

埼玉県さいたま市緑区東浦和 6-8-20

Tel/Fax : 048-606-3074

作成 : 2024 年 9 月 1 日

製品名	DIAGOLD ジュエリークリーナー	
用途	貴金属・宝飾品変色除去剤	
物質の特定	単一製品・混合物の区別	: 混合物
	化学名 (主成分)	: リン含有化合物
	成分及び含有量	: 有効成分 約 8% リン含有化合物、界面活性剤、酸化防止剤、 無機塩 (食品添加物)
	CAS No.	: 7 7 7 8 - 7 7 - 0, 1 2 3 - 3 1 - 9
	既存化学物質 No.	: 7 - 3 1 3, 1 - 4 5 2, 3 - 5 4 3
	国連分類	: 非該当物質
	国連番号	
危険・有害性の分類	分類の名称	: 危険・有害性の分類に該当せず。
応急処置	眼に入った場合	: 直ちに流水で 15 分以上洗顔し、医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	: 製品の触れた部分を石鹸で洗い、多量の水で洗い流す。 皮膚に変化があるか、または痛みがある場合は医師の手当てを受ける。
	飲み込んだ場合	: 食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。
火災時の措置	引火点、爆発限界	: なし
	消化方法	: 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消化する。 消火作業は風上から行い、場合によっては送気マスクを着用する。
	消火剤	: 水、アルコフォーム、ドライケミカル、炭酸ガス、乾燥砂
漏洩時の措置	(1) 酸化性物質との接触は、発火爆発の可能性があるので回避する。 (2) 少量の流出の場合は、ワイプ紙または布に吸収させ、水中に回収する。 (3) 多量の流出は、土砂等で流出拡大を図り、乾燥砂で回収する。 (4) 回収した土砂等は、水中に入れて処理し、排水は焼却処分する。	

取り扱い及び 保管上の措置	取り扱い	<p>：(1)換気のよい場所で取り扱い、保護メガネ、保護手袋、保護マスク等を着用する。</p> <p>(2)取り扱い後は、手洗いとうがいを行う。</p> <p>(3)空気、酸素との接触をできる限り避ける。</p>
	保管	：直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。
暴露防止措置	接触・吸入防止	：有機溶剤用簡易マスク、ゴム手袋、保護メガネ
物理/化学的 性質	外観等	：無色透明液体
	揮発性	：弱い
	比重	：約 1.03 (製品 25°C)
	pH	：約 7 (6~8)
危険性情報	引火点	：製品：なし      主成分原体：181°C
	可燃性	<p>：製品：なし</p> <p>主成分原体：燃焼し無水リン酸の煙霧、白煙が発生する。</p>
	酸化性	：製品及び主成分原体：なし
	発火性	<p>：製品：なし</p> <p>主成分原体：強酸化性物質との混合は発火の危険性がある。</p>
	自己反応性・爆発性	：製品及び主成分原体：なし
	安定性、反応性	：空气中に放置すると徐々に酸化されて酸化体になる。しかし、自動酸化速度は遅い。(主成分原体)
有害性情報	<p>本混合物の製品に関する有害性データはないので、主成分であるリン含有化合物に関する有害情報を下記に示す。</p> <p>本製品の主成分リン含有化合物原体は、分解度試験の結果 100%酸化体に変化したため、Pow、Ames 試験、染色体異常試験、28 日間投与毒性試験は、変化物である酸化体で行った。</p> <p>急性毒性（主成分原体）：LD<sub>50</sub>（ラット、経口）2,000mg/kg 以上  一般状態の変化として、1,000mg/kg 群の雌雄で軟便が認められた。  低毒性のため、人体への影響は少ないものと考えられる。</p> <p>亜急性毒性（主成分原体）：NOEL（ラット、経口）300mg/kg day</p> <p>変異原生（Ames 試験）（主成分原体）：試験結果 = 陰性（-）  いずれの菌株も溶媒対照と比べて、復帰変異コロニー数の増加が認められなかった。</p> <p>変異原生（染色体異常試験）（主成分原体）：試験結果 = 陰性（-）  直接法の 24、48 時間処理及び代謝活性化法のいずれの試験でも陰性を示したので、代謝活性化系の有無に拘わらず陰性と考えられる。</p>	

環境影響情報	分解性（主成分原体）	：本製品の主成分原体は、分解度試験の結果、100%酸化体に変化し、また酸化体の分解度はBODで平均1%以下、TOCで2%以下であった。汚泥中でほとんど分解されず、保管条件下で安定である。
廃棄上の注意	焼却処分する。排ガス中には、 $P_2O_6$ （無水リン酸）、COが含まれるので、水またはアルカリ溶液に吸収させる。 もしくは、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。	
輸送上の注意	一般的注意	：(1)車両等によって運搬する場合、荷送人は、運送人に運送注意書を交付する。 (2)直射日光の当たらない輸送車、トラックを用いる。必要に応じて、ビニールシート等で覆い、40°C以上にならないように注意する。 (3)運送に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、衝撃を避ける。 (4)その他、消防法等の法令に定めるところに従う。 (5)国連番号 1950 クラス 2.1
適用法令	消防法	：主成分原体は、危険物第4類第4石油類に該当するが、希釈してあるので適用を受けない。
	毒物・劇物取締法	：主成分原体も該当しない。
<p>(1) この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。</p> <p>(2) 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。</p> <p>(3) 注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。</p> <p>(4) すべての化学薬品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定願います。</p>		